

# 図表集

## - 図表索引 -

図 2.1	海面上昇への戦略的な取り組みの概念	13
図 3.1	関東平野における貝塚の分布からみた縄文海進時の陸と海の分布図	14
図 3.2	過去 140 年の地球の地上気温の変動	15
図 3.3	日本の年平均気温と平年比の経年変化（全国）	15
図 3.4	世界の主要地域での海面水位の経年変化	16
図 3.5	1951 - 1990 年の東アジアの海面変化	16
図 3.6	気候変動予測	17
図 3.7	日本付近のみに領域を限った地域気候モデル（RCM）による 1 月の気温 及び降水量予測分布図	18
図 3.8	全国の波浪観測所位置図	19
図 3.9	潮位観測施設の位置図	20
図 3.10	GLOSS プログラムによる観測ネットワーク	20
図 4.1	アジアの主要なデルタ	21
図 4.2	トンガタブ島で予測される高潮の氾濫域（1m の海面上昇時）	22
表 4.1	トンガタブ島における水没と高潮氾濫の影響	22
図 4.3	全国に占める沿岸域の人口と工業・商業（1995 年）	23
図 4.4	伊勢湾台風の浸水状況図	24
図 4.5	伊勢湾のインフラ施設	25
表 4.2	伊勢湾の主なインフラ施設（検討対象）	25
図 4.6	沿岸域施設の影響の概念図	26
図 4.7	砂浜減少のイメージ図	27
図 4.8	名古屋の施設影響図	28
図 4.9	名古屋地区の予想最大浸水領域	29
図 5.1	戦略的なシステムフロー図	30
表 5.1	潮位観測施設で得られるデータに含まれる要因の例	31
図 5.2	沿岸域施設の防護を中心とした対応策	32
図 5.3(1)	名古屋地区の整備状況（海岸・河川・下水道施設）	33
図 5.3(2)	名古屋地区の整備状況（港湾施設）	34
図 5.4	建築形態や土地利用の変更による対応策	35